

災害発生時の心得

～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険である他、救助・救急活動の妨げとなります。

【むやみに移動を開始しない】

- ・身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう
- ・災害用伝言サービスにより、家族の安否などを確かめよう

 **災害伝言ダイヤル**
171

 **災害用伝言板**
Web171

 **▲使い方**

- ・交通情報や被害情報などを入手しよう

【日ごろから準備しておきたいこと】

- ・家族などと安否確認の方法、集合場所、帰宅経路の状況を確認しておこう
- ・家や職場に飲料水や食料、携帯ラジオ、地図、運動靴、懐中電灯などを用意しておこう
- ・帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなど災害時帰宅支援ステーションの場所を確認しておこう



問合せ 防災対策課 (4階) ☎(36)7580 FAX (20)1602

散歩路

文芸コーナー

勝又 政芳

里山周りの小路を歩く
お年寄りが目に映る
何時も背筋を伸ばして歩かれる
ある朝、散歩の途中でお会いした
九十五才と教えてくれて
何の障害もなく
会話をされる姿に憧れる

元気の秘訣をお聴きした
「心配しないことだよ」と即答し
「限界を知ることだよ」と強調された
もう少しやれる、やりたいと頑張り
体をこわせば、もう治らないと言う
限界を知り
「毎日、体を動かすことだよ」と
教えて戴いた

働き盛りの頃だった
限界だ、と言えなかった時も
言いたくなかった時代もあった

己に甘えず、体を動かし
今の限界を知りたいが
自分のことは、なかなか判らない

「欲を捨て、和やかに生きる」と
解るのだろうか
今朝も霜柱の小路を歩いてきた

◎選評 齋藤正敏

朝の散歩の途中で 近所のお年寄りが 元気の秘訣を教えてくれた。心配しないこと限界を知ること 毎日体を動かすこと。欲を捨て、和やかに生きることを心掛けて 老人の散策には新たな課題が育まれるようだ。

●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。

●投稿は楷書をお願いします。作品・氏名にふりがなをふってください。

※詩の原稿送付先(直接選者)へ 〒297-0032 茂原市東茂原7-55 齋藤正敏宛。

詩は随時募集しており、どなたでも応募可能です。たくさんのご応募お待ちしております。

「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内をお願いします。

